

平成18年7月豪雨における手取川の出水状況

資料 - 4

7月15日18時頃から降り始めた雨により、手取川の水位は鶴来水位観測所では、はん濫注意水位(警戒水位)を超え、2.50m(18日1:50)を記録し高水敷の公園が隠れるまでの大きな出水でした。

手取川上流にある手取川ダム(国土交通省管理)では、約4,319万m³(25mプール 144,000杯分)の洪水を貯留し、洪水調節を行い下流の水位低減を図りました。



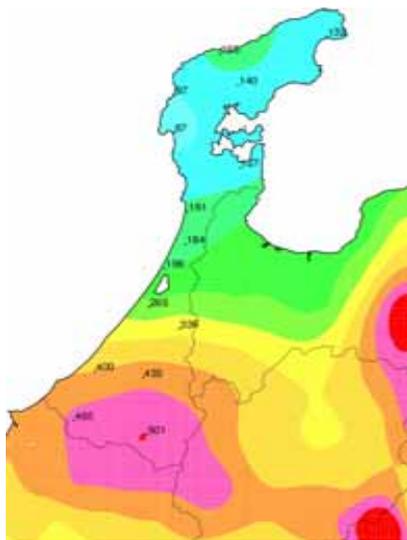
洪水が波を打って流下する手取川 (手取川鉄橋(JR)付近:平成18年7月19日撮影)



洪水調節により、鶴来水位観測所において、水位を1.23m低下させた手取川ダム (平成18年7月17日 撮影)



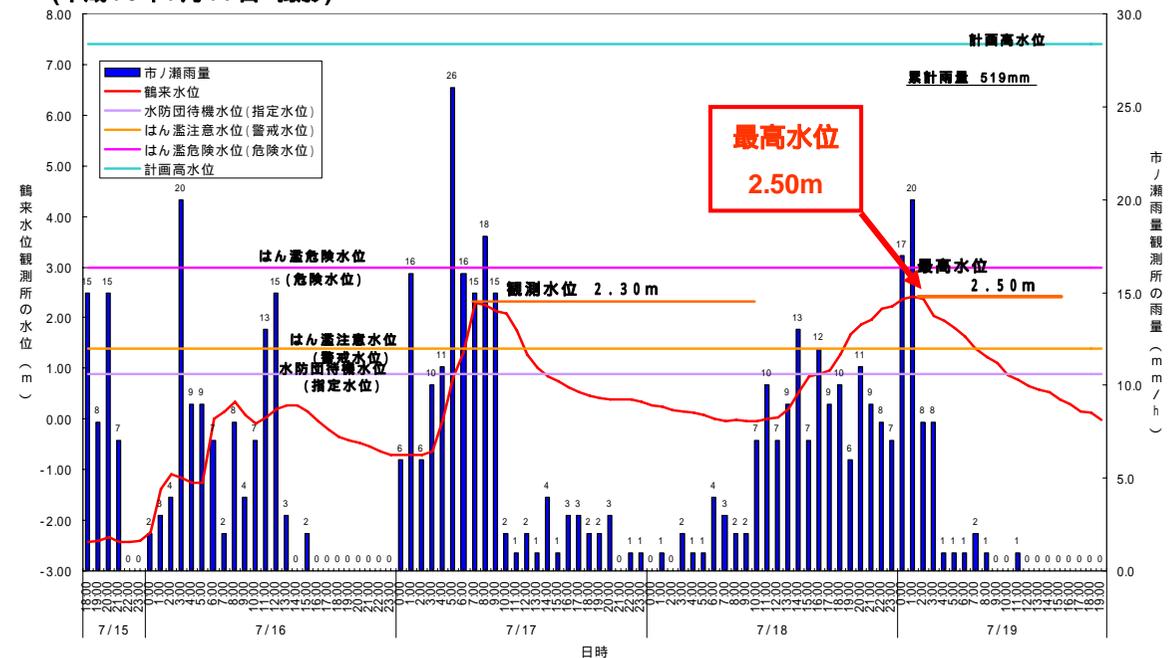
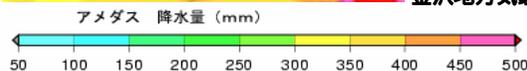
鶴来水位観測所における水位状況



7月15日~19日の総降水量は白山白峰で501mmとなりました。
1日あたりの降水量が7月としては、過去最高値を観測しました。

アメダス積算降水量分布図(石川県)
(H18.7.15 1時~H18.7.19 23時)

金沢地方気象台提供



(参考) 平成18年7月豪雨における梯川の出水状況

7月15日18時頃から降り始めた雨により、梯川の水位は17日2時頃より急激に上昇し、埴田水位観測所では17日6:00にはん濫危険水位(危険水位)を超え、4.91m(17日8:00)を記録(過去2位)し、長時間にわたり水防団待機水位(指定水位)を上回りました。一部では堤防天端付近まで水位が上昇する区間も発生する大きな出水でした。

小松市では梯川の氾濫の恐れがあるとして、小松市内12町内8,558名に対して避難準備情報を発令し、市民に避難を促しました。梯川上流にある赤瀬ダム(石川県管理)では、約442万m³(25mプール 14,700杯分)の洪水を貯留し、洪水調節を行い下流の水位低減を図りました。



洪水調節により、埴田水位観測所において、水位を0.91m低下させた洪水調節中の赤瀬ダム (平成18年7月16日撮影)



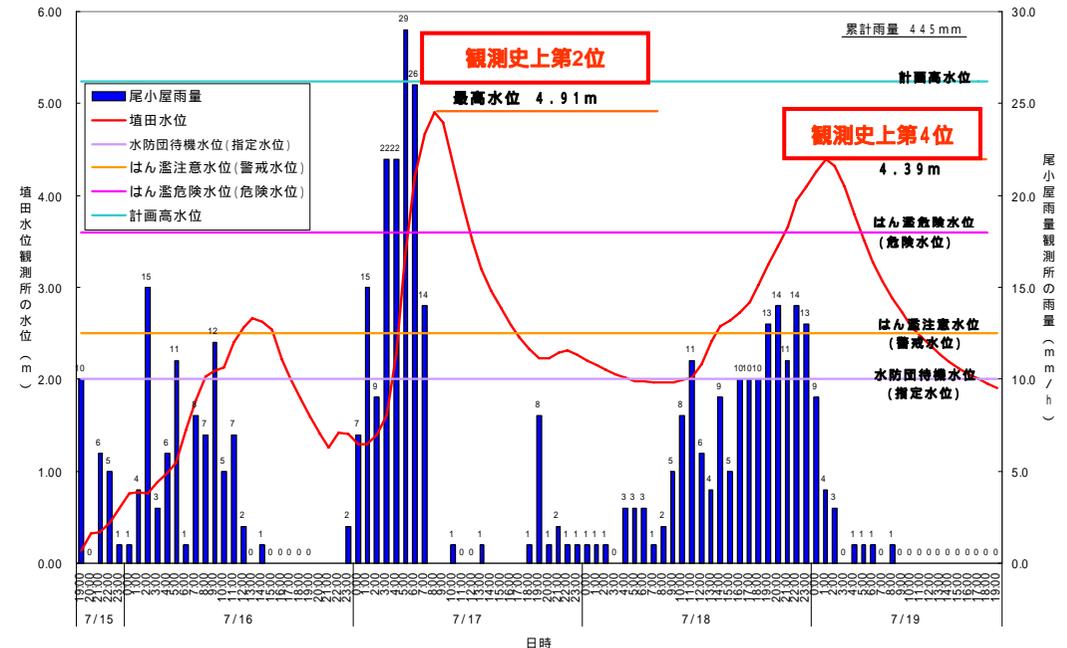
梯川 堤防いっばいで流下する洪水 (小松市 能美大橋左岸:平成18年7月17日撮影)



埴田水位観測所における水位状況

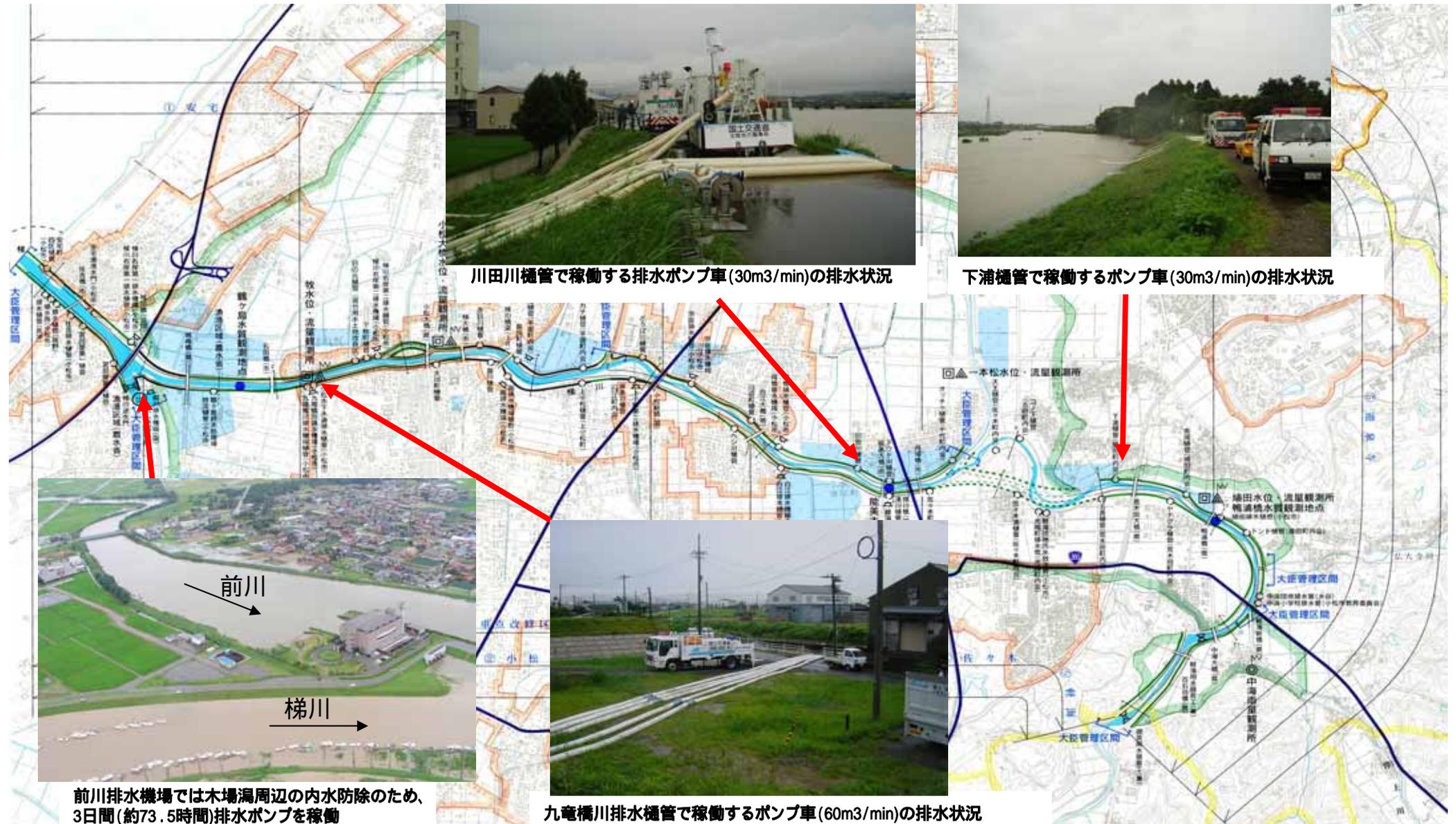


河川監視、土のう積み等の水防活動に延べ256名の水防団等が出動し、水防活動を実施 (小松市 白江大橋左岸での水防活動:平成18年7月17日撮影)



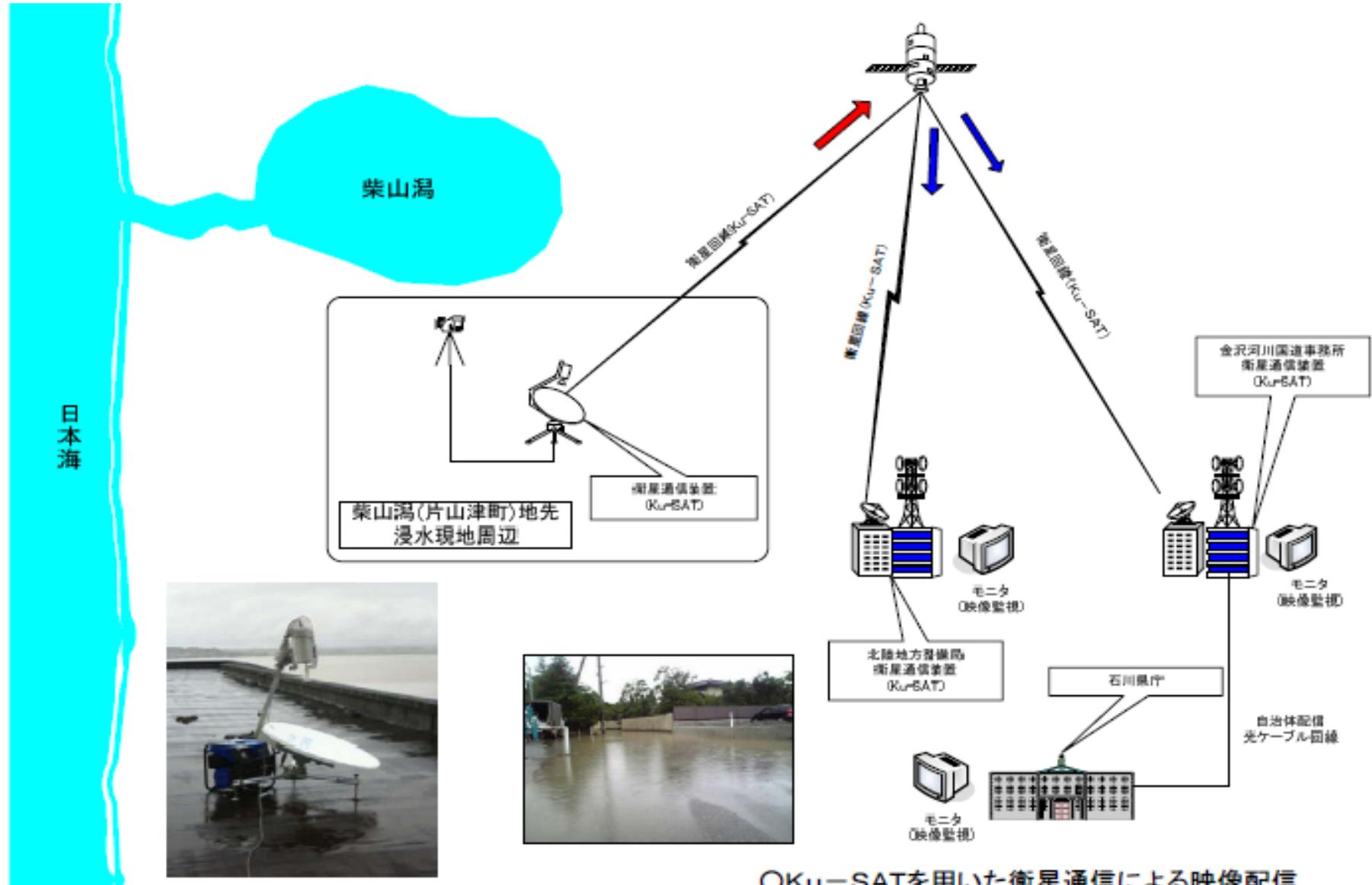
(参考) 平成18年7月豪雨における金沢河川国道事務所の支援 1 / 2

梯川では、小松市からの要請を受け、国土交通省所有の5台排水ポンプ車や照明車を3箇所に派遣し、延べ66時間にわたり、合計約156,300m³(25mプール521杯分)の内水排水を排除し、内水被害を軽減しました。



(参考) 平成18年7月豪雨における金沢河川国道事務所の支援 2 / 2

柴山潟周辺の浸水被害に対し、情報収集のため可搬式画像伝送装置(ku-sat)により関係機関へ映像を配信



OKu-SATを用いた衛星通信による映像配信
浸水被害のあった、加賀市片山津町柴山潟湖畔の
被災状況を県庁に配信。



とだしの

手取川左岸13.2k 能美市灯台笹地先

根固めブロック流出状況

災害採択 手取川: 5ヶ所、約10.4億円

(参考) 平成18年7月16日梅雨前線出水(白山砂防) 災害申請箇所



細谷第5号砂防堰堤 白山市白峰地先
副堰堤基礎先掘状況

災害申請中 白山砂防: 2ヶ所、約3.5億円